

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21 年 8 月 24 日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2772200503
法人名	社会福祉法人 弘仁会
事業所名	グループホームやすらぎ苑
所在地	大阪市生野区田島3-6-13 (電話) 06-6751-1270

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21 年 8 月 4 日

【情報提供票より】(平成 21 年 7 月 11 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 11 年 12 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	8 人	常勤 6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 6 人	

(2) 建物概要

建物構造	RC 造り		
	4 階建ての	3 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000 円	その他の経費 (月額)	11,500 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当たり 円 / 1 ヶ月当たり 40,000 円		

(4) 利用者の概要 (平成 21 年 7 月 11 日現在)

利用者人数	8 名	男性 2 名	女性 6 名
要介護 1	3 名	要介護 2	1 名
要介護 3	2 名	要介護 4	1 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 62 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 呉診療所
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域で診療所を開設し長期間地域診療活動を行ってきた法人が、地域に根ざした安心できる居場所の確保を目指して開設したループホームです。またデイサービスや在宅介護支援センターが併設されています。「一、高齢者が安らぎと生きがいを持てる、自立した生活の場を築きます。一、地域からの信頼を大切に、地域に根ざした施設を築きます。一、職員は常に向上心を持ち高度な介護技術と、心温かな福祉サービスを提供致します。」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。母体法人の診療所の医師と訪問看護ステーションの看護師との医療連携により、利用者に必要な医療と看護を提供しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部 4)
	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。運営推進会議が 2 ヶ月毎に開催されるようになり、利用者の思いや暮らし方の希望をセンター方式の「私の姿と気持ちシート」を使って把握しようと準備を進め、介護計画を 6 ヶ月毎に見直す準備をしています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部 4)
重点項目②	今回の自己評価については管理者のみで作成しており、職員が議論に参加し共通認識のもとで完成されたものではありません。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部 4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域ネットワーク推進員、利用者、家族の参加のもとで、2 ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事について説明をし、家族の意見や要望も出されています。ボランティアの受け入れや地域との交流の深め方についても話し合い、相互の理解を深めています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部 7, 8)
重点項目④	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。利用者の日常生活ぶりを手紙に書き、写真を添えて家族に送付しています。預り金については定期的に家族に報告しサインを貰っています。家族とは面会時だけでなく、家族の参加する行事の時や年 2 回の家族会で、思いや希望、不満を表せるようにしています。運営推進会議にも全家族に参加を呼びかけています。
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部 3)
重点項目④	利用者は毎月地域の憩の家での食事や喫茶の会に出席して地元の人と交流を図っています。近隣の小学生が学校で育てた季節の花を差し入れしたり、体験学習に参りしています。法人の役員に地域の方が就き、行事の時には地域の住民や学校の先生も参加しています。ボランティアと一緒に歌体操や紙芝居を楽しんでいます。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「一、高齢者が安らぎと生きがいを持てる、 自立した生活の場を築きます。一、地域から の信頼を大切にし、地域に根ざした施設を築 きます。一、職員は常に向上心を持ち高度な 介護技術と、心温かな福祉サービスを提供致 します。」をホームの理念として掲げ、利用者 が安心してその人らしい生活を続けられるよ う家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	定例の施設会議やグループホームミーティン グ、毎日の業務等を通じて理念を共有し、理 念に沿った介護サービスの実践に取り組んで います。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	利用者は毎月地域の憩の家での食事や喫茶の 会に出席して地元の人と交流しています。近 隣の小学生が学校で育てた季節の花を持って きたり、体験学習に来たりしています。法人 の役員に地域の方が就き、行事の時には地域 の住民や学校の先生も参加しています。ボラ ンティアと一緒に歌体操や紙芝居を楽しむこ ともあります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。運営推進会議が2ヶ月毎に開催されるようになり、利用者の思いや暮らし方の希望をセンター方式の「私の姿と気持ちシート」を使って把握しようと準備を進め、介護計画を6ヶ月毎に見直す準備をしています。今回の自己評価については管理者のみで作成しており、職員が議論に参加し共通認識のもとで完成されたものではありません。	○	自己評価の実施にあたっては、全職員が評価の意義と狙いを理解し、具体的にサービスの改善に活用するため、管理者と職員が一体となって参加することが求められます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域ネットワーク推進員、利用者、家族の参加のもと、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事について説明をし、家族の意見や要望も出されています。ボランティアの受け入れや、地域との交流の深め方についても話し合い相互の理解を深めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	併設の在宅介護支援センターを通じて、地域包括支援センターと困難事例について相談しています。その他、区の職員と情報交換に努め、法人として家族介護教室やいきいき教室の受託をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。利用者の日常生活ぶりを手紙に書き、写真を添えて家族に送付しています。預り金については、定期的に家族に報告しサインを貰っています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、家族の参加する行事の時や年2回の家族会で、思いや希望、不満を表せるようにしています。運営推進会議にも全家族に参加を呼びかけています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎月の「業務目標」の設定や「ケア技術チェック」の実施等によりチームワークが醸成されています。昨年に比べ職員退職者数は半減し、利用者への影響は最小限に抑えられています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ステップアップを目指し、月毎に職員が話し合って「業務目標」を設定し実行したり、「ケア技術チェック」を全員が受けたりする制度があります。外部研修や内部研修も実施していますが、「緊急時対応」のテーマについて研修は行われていない状況です。採用時研修のマニュアルを整備し実施しています。	○	職員は研修済みの「感染症」「認知症」に併せ「緊急時対応」についても研修することが求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、同業者との情報交換や交流をしています。ホームを同業者間の交流の場として提供し、交流が行われました。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には、併設のデイサービスで行われるレクリエーションにホームの利用者と共に参加し、顔なじみになることを勧めています。また職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族がホームに来訪したりするなど、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居、サービスを受けられるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。家事の得意な方、書道や俳画の作品を持ち込んでいる方、空調機に詳しい方、屋上やベランダの園芸が好きな方等、利用者の得意な分野で家事や行事の機会を通して、学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の「私の姿と気持ちシート」を使い、利用者の思いや暮らし方の希望・意向を把握するようフォーマットの準備を進めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握し、医師や看護師、家族の意向を反映させて介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のグループホームミーティングでケース検討を行い、ケアマネジャーは3ヶ月毎にモニタリング結果をまとめ、見直しにつなげています。介護計画の見直しは、今回から定期的に6ヶ月毎に実施する予定です。また状態の変化がある時はその都度見直しを行います。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	関連法人の診療所の医師と訪問看護ステーションの看護師との医療連携により必要な医療と看護を提供しています。法人として地域の介護教室やいきいき教室の受託を受けています。地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関連法人診療所の医師による週 1 回の往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前からかかりつけの医療機関より引き続き医療を受けています。協力医療機関と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでの看取りの実績があります。入居時にホームでの看取りについて、家族に説明し同意を得ています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行いながら対応していく予定です。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。利用者の状態に合わせ、朝食3回に分けて食べる方や、2時間かけて昼食を摂る方もおり、その都度対応しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常、夕食については調理済みの食材を、朝と昼については未調理の食材を併設のデイサービスの厨房から取り寄せています。利用者は食事準備、野菜の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等の一連の作業に得意な分野で積極的に参加しています。月1回の食事と月2回のおやつについては、好みのメニューで買い物から調理までの一連の作業にも利用者が参加し楽しんでいます。職員は利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。屋上菜園で収穫した野菜や果物を食べることもあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望によっては毎日でも入浴が可能で、毎日入浴している利用者もいます。通常週3回以上ゆっくり寛いだ入浴を楽しんでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。ほぼ毎日夕方に本格的な機材を使い、全員でカラオケを楽しんでいます。屋上の菜園で野菜や花を作り、収穫を楽しんだり、地域の憩の家での食事や喫茶会で交流をしたり、ボランティアと一緒に歌体操や紙芝居を楽しんだり、新聞読みを楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な公園や神社、商店街への散歩のほか、市場やスーパーへの買い物、季節の花見や遠足に出かけています。今後利用者毎に計画的な個別の外出を実施することが望まれます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアは開放されています。ホームからエレベーターホールに至る空間はソファもあり、広くゆったりとしていて、外出願望のある利用者は見守りで対応できています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えるマニュアルを作成し、年2回消防署の立会いで避難訓練を実施しています。非常・災害時の食料品と水の備蓄は実施できていない状況です。	○	非常・災害時のための食料品と水の備蓄をすることが求められます。また備蓄については「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成してはいかがでしょうか。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	利用者全員の一日の食事摂取量と、水分管理 の必要な利用者の水分摂取量を把握し記録し ています。栄養バランスについては、併設の デイサービス厨房の管理栄養士よりアドバイ スを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にと って不快な音や光がないように配慮し、 生活感や季節感を採り入れて、居 心地よく過ごせるような工夫をしてい る	エレベーターホールには絵画や花が飾られ、 ソファもあって、ゆったりとした雰囲気にな っています。広く、明るいきりびきり兼ダイ ニングルームの大きい窓からは、季節の花を 見ることができ、ベランダ越しには公園の緑 が望まれ開放感があります。季節の飾りや屋 上菜園で育った花が飾られ、ソファセット や複数の椅子が置かれ、壁には利用者の書道 作品や俳画があって、落ち着きと生活感のあ る空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、本人が居心 地よく過ごせるような工夫をしている	各居室の入口にはのれんが掛っています。利 用者は整理ダンス、飾り棚、鏡台、椅子、仏 壇、人形、自作の俳画、新聞、家族の写真等、 使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、個性 的で安心して生活できる空間になっていま す。		